

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和5年度事業点検・評価調査

5- II -6

5- II -6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	佐渡特産品の販路拡大
節	II. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市産業振興課
事業(施策)名	6 佐渡特産品の販路拡大	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市農業政策課、佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡金銀山ブランドを活用した販売戦略により、高付加価値化を推進し、佐渡産品の販路拡大を図り、地場産業の振興を行う。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡金銀山PRと連携し、佐渡産品のブランド価値を高め、情報発信・展示・販売を積極的に行い、佐渡産品の販路拡大を図る。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐渡産品(一次・二次産品、工芸品)と観光、芸能等を組み合わせたクロスボーダーやDX活用でプロモーションやブランディングサポートを実施し、島内外での販路拡大を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税における新規商品300品目</li> <li>・百貨店等での取扱量拡大</li> </ul> </li> </ul>		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サドメシラン認定店の認定店舗数拡大にあわせ、佐渡産食材の販路拡大を図ってきた。島外においては、各種イベント時にタイアップしながら、物販を行い、令和3年度からは、佐渡まるしえを活用し、島内外の消費者へアピール、販売している。金山の坑道を活用した追熟・貯蔵により、金山ルレクチエとして高単価での販売を行うほか、金山みかんについても有利販売につなげるため、実証した。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 百貨店等を活用したフェアやイベントとタイアップし佐渡産品のPRを図る。</li> <li>● ふるさと納税の返礼品アイテムとして金山関連商品を紹介し、露出機会と販売チャネルを拡大する。</li> </ul> <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新潟三越伊勢丹やMUJIで佐渡フェアを実施し、「佐渡島の金山」をPRすると共に食だけでなく無名異焼や竹細工等の島の伝統工芸品も販売することにより、「金山」を取り巻く佐渡の魅力を複合的に発信した。また、金山との親和性の高い「無名異焼」について、さらなる認知度向上・付加価値を高めるため、「伝統的工芸品指定」に向けた取り組みを始動した。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金山に由縁のある産品や伝統工芸について、ストーリー性や関係性のつながりが見える化されていないことから一体的なPRとなっていない。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 百貨店等や県の首都圏販売拠点を活用したフェアやイベントとタイアップし佐渡産品のPRを図る。ふるさと納税の返礼品アイテムとして金山関連商品を紹介し、露出機会と販売チャネルを拡大する。金山と親和性の高い無名異焼きについて、認知度を向上させると共にブランド価値向上を図る。国の「伝統的工芸品指定」の認定を目指す。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成度】 ◇ 課題解決に向けた取組は継続して必要だが、PRの観点から一定の効果があった。</p> <p>[ A ・ B ・ C ]</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。